

## 国分寺市教育委員会議事録・第3号

会議の種類 第2回国分寺市教育委員会定例会  
会議の日時 令和3年2月25日(木) 午前9時30分  
会議の場所 国分寺市立教育センター 2階 203・204号室

### 会議の出席者

#### (教育委員会)

教育長	古 屋 真 宏
教育長職務代理者	富 山 謙 一
委 員	大 木 桃 代
委 員	辻 亜希子
委 員	藤 井 健 志

#### (説明員)

教育部長	一ノ瀬 理
教育総務課長	日 高 久 善
学務課長	中 島 弘 美
学校指導課長	富 永 大 優
統括指導主事	大 島 伸 二
指導主事	野 村 宏 行
指導主事	渡 辺 大 輔
社会教育課長	千 葉 昌 恵
ふるさと文化財課長	高 杉 強
ふるさと文化財担当課長	櫻 井 明 徳
公民館課長兼本多公民館長	前 田 典 人
図書館課長兼本多図書館長	戸 部 伸 広

#### (事務局)

書 記	佐々木 理絵子
書 記	大 嶽 みなみ

傍聴人 0人

## 〔開会と署名委員の指名〕

午前9時30分、教育長は開会を宣言し、署名委員として1番辻委員、2番藤井委員を指名した。

## 〔前会議事録の承認〕

・令和2年12月24日開催の令和2年第12回国分寺市教育委員会定例会議事録第20号

## 〔教育長等の報告〕

**教育長** おはようございます。大変お忙しい中、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。先週、第一中学校と第三小学校の研究発表会をさせていただきました。2年間にわたる研究の成果について、コロナ禍の中でございますのでオンラインで実施をさせていただきましたところ。一中はSDGs、三小は人権尊重教育について発表をさせていただきました。それぞれの学校が創意工夫をしながらの研究活動ということで、非常に熱心に活動をしていただいた成果を十分に発信できたと思っております。今後、その成果を市内の全校で生かしていただきたいと願っております。また、委員の皆様方にもその様子をオンラインを通してご覧いただけたということで、大変嬉しく感じているところでございます。研究する教員集団ということで、本当に先生方に敬意を表したいと思っております。

## 〔協議〕

### 1 国分寺市国際協会の役員推薦について

(議案の内容と説明)

**教育長** 現在の国分寺市国際協会の役員任期が令和3年3月31日で満了することに伴いまして、次期役員を推薦する必要があるとございます。次期役員についての推薦をするということで、国分寺市国際協会から御依頼をいただいているところでございますので、よろしくお願いをいたします。

(意見・質疑の要旨)

**教育長** この件について、委員の皆様方から御推薦を挙げていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

**富山教育長職務代理者** 私は大木委員を御推薦いたします。国分寺市の国際協会は、歴史も長く地域に根差した国際交流あるいは外国人の方への支援活動など非常に幅広く展開しておられます。これらの国際理解に関しましては、大木委員は学際的で高い識見をお持ちでおられますので、私は最適任者ではないかと思っております。このような理由で御推薦申し上げます。

**教育長** ありがとうございます。委員の皆様方はいかがでしょうか。大木委員、よろしいでしょうか。

**大木委員** それでは僭越ながらお引き受けさせていただきます。この国分寺市国際協会の活動を通して、市民の皆様のお役に立てるよう、精いっぱい尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

**教育長** ありがとうございます。それでは、国際協会の役員として大木委員をお願いをしたいと思っております。任期は令和3年4月1日から令和5年3月31日までとなります。よろしくお願いをいたします。

## 〔報告〕

### 1 国分寺市GIGAスクール構想環境整備業務委託の進捗状況について

(事務局からの説明)

**教育総務課長** 昨年12月24日開催の教育委員会定例会にてプロポーザル方式による業務選定の結果、優先交渉権者が東日本電信電話株式会社に決定したことににつきまして御報告させていただきました。その後、業者と仕様書等の確認、協議を行い、正式に契約を締結させていただきました。本日は、端末等のスペックや現在の整備状況について御説明をさせていただきます。

資料1をご覧ください。項番1、導入端末のスペックについてです。児童・生徒用端末、こちらはタブレットパーソナルコンピュータになりますが、そのタブレットパーソナルコンピュータを入れて運ぶことができるキャリングバッグ、資料右側に各教室に設置する充電保管庫について示してございます。

まず、児童・生徒用端末ですが、富士通製のARROWSで、GIGAスクール構想標準仕様基準モデルになってございます。OSにつきましてはWindows10、モニターの大きさは10.1型ワイドとなっております。重さは約1,215グラムとなっております。その下に、こちらのパソコンを入れて持ち運ぶ際に便利なキャリングバッグについて図で示しております。端末とキャリングバッグにつきましては、実物をお持ちしましたので御紹介させていただきます。端末は、A4判より少し小さいサイズのパソコンになります。端末を開きましてボタンを押すことによって、タブレットの部分とキーボードの部分に分かれるタイプでございます。キャリングバッグの内側にはウレタン製の素材が施されておりますので、ある程度衝撃にも耐えられるのではないかとというものになってございます。持ち運びに便利なものということで、こちらの二つについてお配りすることになってございます。

資料にお戻りいただきまして右側の充電保管庫をご覧ください。こちらにつきましては高さが105センチ、重さが約79キログラム、収納台数については最大45台でございます。基本的に各教室にこちらを設置することになっております。

項番2、GIGAスクール環境における制限についてです。詳細につきましては、現在検討中でございますが、基本的にはUSBメモリ等を無効にする外部デバイス制御や有害サイトを排除するためのインターネット閲覧フィルタリングなどを整備する予定でございます。

項番3、GIGAスクール端末でできることについてでございます。資料裏面に表と図を示してございますが、各学校の授業で御活用いただく内容について例示として出させていただきます。今後、協議、検討していただいて進めていく状況になってございます。

現在の工事状況でございますが、事業者による各学校の工事に関わる現地確認調査が終了してございまして、校内LANの設置工事と充電保管庫の設置を順次行っております。校内LANの設置工事が終わっている学校から、タブレットの動作確認を1台ずつ行い、充電保管庫に設置をするという状況でございます。

先生方への操作等の研修につきましては、春休みの期間を中心に実施する予定で、各学校とも現在調整をしているという状況でございます。簡単ではありますが御報告は以上となります。

(意見・質疑の要旨)

**辻委員** 幾つかお伺いします。まず、この充電保管庫を各教室に設置という御説明がありました。こちらはある程度の大きさや重さがある物だと思います。児童・生徒の人数によっては教室がより狭くなるのではないかと、あるいは下にストッパーがついていると思いますが、可動式なので危ないのではないかと心配になったのですが、いかがでしょうか。

**教育総務課長** 委員おっしゃったようにストッパーがタイヤのところに4個ついているのに加え、そのほかに底に足のような物を取り付けまして、全部で8か所で固定する形になってございます。転倒を防止し、安全を第一に考えて、そのような形をとらせていただいております。設置する場所につきましては、各学校と協議をしまして大半の学校が先生方の教卓に近いところに設置をしております。また、廊下に設置をする学校もございます。教室のほうは狭くなりますが、そのような工夫をしながら設置について学校とも協議をしながら進めているという状況でございます。

**辻委員** ぜひ各教室の人数やレイアウトに応じて安全を確保しながら進めていただけたらと思います。

次に、資料裏面に利用シーンについて記載がありますが、児童・生徒同士のやり取りはどのように想定されているのか教えていただけたらと思います。それともそのことについては特に想定されていないのでしょうか。

**統括指導主事** 児童同士のやり取りは、図3「共同等学習利用シーン」の中で、例えば一つの同じ画面に全員が書き込むことができますし、またはTeamsというソフトウェアが使用できるようになります。その中で共同編集、一つの作品を皆でつくり合っていくということもできますので、いきなりこれが4月からできるかというとなかなか難しいところがあると思いますが、先生方にも研修を積んでいただきながら、徐々にこのようなものが使えるようになって考えております。

**辻委員** 以前、その導入の御説明を伺ったときに、持ち帰り可能と聞きましたので、学校以外でも児童・生徒同士がやり取りをする場面というのは想定されるのでしょうか。

**統括指導主事** 持ち帰りにつきましては、今後また検討を深めなければならない部分がございます。また、家庭の状況等もありますので、今後またそこは考えてまいります。持ち帰ったとしても児童・生徒同士が自由に交流し合うというような場面は、それに伴うデメリットの部分もありますので、その点も慎重に考えていかなければならないと思っております。

**辻委員** まさにその点が気がかりだったのですが、いじめに関する調査のアンケートでも、やはり数は少ないながらも必ずインターネットやSNSに関することが挙がってきておりますので、そういうことの端緒にならないように、上手に児童・生徒同士のやり取りの面でも使っていただけたら良いと思っておりました。

最後に、直接この環境整備とは関わりはないかもしれませんが、先日、テレビ番組で、パソコンや携帯ゲーム機の使い過ぎで目を近くで酷使することによって、子どもの眼軸が長くなる近視について放送していました。そうしましたら、ちょうどその後、私の子が通っている三小の保健だよりでもそのことが紹介されていて、気をつけましょうということが詳細に保健の先生からお知らせがあつて、大変ありがたいと思っておりました。今後はこのようにパソコンなどのOA機器を使って学習をすることを学校が積極的に進めていくからには、それと並行して健康面でもこのようなデメリットも考えられるから気をつけましょ

うというような、保健指導のようなものをより進めていただけたらと思いました。もちろん保健の先生だけでなく、実際に指導にあたる先生方も目を休める、姿勢に気を付けるなど、健康上好ましい機器等の使い方をぜひ心にとめて御指導をいただければ良いと思いました。

**教育長** 端末の活用ルールについて御説明していただければと思います。

**統括指導主事** 現在、情報教育推進委員会の中でタブレットの活用ルールを作成しております。その中でも健康上気をつけなければならないものということが盛り込まれております。文部科学省や東京都教育委員会もリーフレット等でその内容について触れておりますので、そういうものを生かしたり、学校医からも御意見等をこれまでもいただいておりますので、その点も含めたルールを配布して、学校でも気をつけるし、御家庭に持ち帰るときもお気をつけいただくように周知を図ってまいりたいと考えております。

**藤井委員** 既に以前の会議でお話し済みかもしれませんが、個人が使う端末は毎回同じ端末を使うようなスタイルになっているのでしょうか。もし不具合が発生した場合の補助的な端末は各教室に何台かあり、フォローできるような形で設定されているのでしょうか。

**教育総務課長** 現在考えておりますのは、それぞれ使うパソコンにつきましては本人限定という形になってございます。使うときにパスワードを入力して使うということになってございます。もしその機械が故障等で使えなくなった時は、予備機としまして想定しているのが各学校の充電保管庫の中に、1台から2台設置をして対応したいと考えてございます。

**藤井委員** 以前、この試みをしているところに聞いたら、各教室に2台フォローがあればまず間違いないだろうというようなことをお伺いしたことがありましたので伺いました。

**大木委員** 今、お話が出ましたが、パスワードの管理などについてはどのような方針でされていますでしょうか。低学年ですとパスワードを忘れてしまう可能性もあります。また、通常ですとある程度使ったらパスワードを変更するというとも言われておりますが、忘れてしまった子どもたちのために、例えば一覧表を担当の先生がお持ちであるなど、何かそのようなことについて御検討はされているのでしょうか。

**教育総務課長** パスワードの管理につきましても、各学校の校長先生あるいは担任の先生のほうで管理していただくことになろうかと思いますが、そのあたりについては業者とも詰めて、安全に使えるようにこれから話し合っていきたいと思っております。パスワードにつきましても安全な対応を図ってまいりたいと思っております。

**大木委員** 子どもたちにとって、やはりまずはパスワードを管理ということ自体を学習することも、今後のために非常に必要なことだと思います。想定されるものとしては、先生方が御指導をされても、「パスワードはこれだから私の端末も立ち上げておいて」というように、子どもたちの間でパスワードを教え合う可能性があると思います。そうすると、何らかのいたずらなどが生じないとも限りませんので、そういうことも含めてもちろん御検討はされていることと思いますが、御指導いただければと思っております。

**統括指導主事** これまでも、まなびポケットを使う際にも、IDやパスワードを配布してまいりました。したがって、子どもたちもその使い方は少し慣れてきているのではないかと思います。委員おっしゃるように、お互いに伝え合ってしまうということの危険性等も含めて、これは情報モラルに関わることだと思いますので、その点もしっかりと指導はしていきたいと思っております。

**教育長** 発達段階において指導をする内容も変わってくると思います。しかし、低学年

であってもパスワードについては理解できるという研究の成果もあるようですので、秘密の暗号としてそれぞれが大切しなくてはいけないなど、丁寧な指導をしていただけたらと思います。よろしくお願ひいたします。

**富山教育長職務代理者** 便利なツールには光と影があるわけですが、その光と影を考えると、子どもであってもパソコンに対する便利さや危険さに対する意識には個人差があると思いますし、先生も当然人間ですから、得意とする先生もいらっしゃるし、そうでない先生もいらっしゃると思います。その中で、影を抑えて光を十分に生かしていくというその学校としての指導体制について、前回もお話があったのですが、そこを御説明いただけますでしょうか。

併せて、光の部分を考えますといろいろなことができるようになります。しかし、それをすぐに全ての先生に行っていただくというのも無理がある話で、例えばZoomやSNSを使って海外や遠隔地にいる人と顔を見ながら討論までできるということが、可能性としてあります。そういう国分寺市内外の先行的な事例を学べるような、いわゆる研修に結びつくと思いますが、その辺を説明していただけるとありがたいです。

**渡辺指導主事** 現在、情報教育推進委員会でルールやスケジュールを検討いたしまして、各校で実態に合ったルール、スケジュールを今まで積み重ねてきた原案をもとに検討をしているところでございます。来年度に関しては情報教育推進委員会の回数を増やしまして、その中で実際にやってみなくては分からない部分に関して、各校で実践してきたことを周知し共有して、発信していく予定です。併せて、夏季休業中の研修も設定させていただき、とにかくまだ先生方も不慣れな部分もあるかと思っておりますので、まずできることから始めて、新しいことにもチャレンジしていくというところで、子どもたちにとって効果的な指導ができるように進めてまいりたいと思っています。

**教育長** 先日も、第七小学校で、少し先進的な研究を進めているところで、八丈島の小学校とつないで八丈島の様子などを、八丈島の教育委員さんからレクチャーを受けたという実践もあったようです。また、七小と一小がZoomを通して一緒に授業をする実践もされたということです。そのようなことがさらに4月からは一人一台になると推進されるのではないかと感じておりますが、そうやって学びが広がっていくような期待を寄せているところです。ぜひそういう実践を数多く積み重ねて、市内に広げていただけたらありがたいと思います。よろしくお願ひします。

**富山教育長職務代理者** 対面しながら成長していく部分と、コロナ禍ではありますが離れたところの人と情報交換しながらグローバルでという二つの部分をうまく活用するとパソコンが生きてくるし、この国分寺市で教育を受けた小学校、中学校の子どもたちが、今後大きく育ってくれるのではないかとことも感じますので、よろしくお願ひします。今の教育長のお話を聞いて非常に心強く思います。

**教育長** 大きな財政負担の中で配備をしますので、ぜひ活用をよろしくお願ひいたします。

**藤井委員** 今、私が筑波大学の先生と一緒にいることを御紹介いたします。私もやっていた剣道の専門の先生とやり取りした事例なのですが、剣道関係の大会も声を出しますので、ほぼ対面の試合が中止になってしまって、子どもたちのモチベーションが非常に落ちています。国内もそうなのですが、オランダ在住の方からの相談があつて、漫画の『鬼滅の刃』の影響もあつて、剣道熱は高まっているのに道場に足を運び入れられないからモチベーションが下がっていてどうしようという話でした。そこで、対面の試合はでき

ませんが、画面上で素振りを映して、その素振りの技術を筑波大学の先生を中心に、高段者の先生が判定をして勝敗を決める世界大会をやってみようということになりました。私が子どもころに開催されていた世界大会での本物の剣道を見たことがない諸外国の剣士たちの形と比べると、今はインターネットで日本の一流選手たちの試合を見ているので、本当にナチュラルな剣道の動きになっていました。このような形でインターネットを使うと、部活動の中止になった大会の代替大会のようなものができるのではないかと思います。また、競技によっては、対戦とは異なったスキルで勝敗を判定すると、通常の大会だと陰にいる子どもたちがその技術の部分に関してはひなたに上がってきたりして、また違った側面の子どもの評価でできるのではないかと思います。今、筑波大学の先生がそのような試みをやっているのです、そのような可能性も広がるのではないかと考えております。

**教育長** ぜひその可能性をどんどん広げていただいて、活動の場も子どもたちに与えていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

**大木委員** 資料裏面の図4に、不登校の児童・生徒の自宅あるいは病気療養児との接続とありますが、やはり学校に来られないお子さんたちへの支援が非常に手厚くできるのではないかと考えております。特に一人一台ということと、いろいろ考えるにしても全員が自宅にも接続できるとなりますと、おそらく不登校のお子さんたちに対しての教育の機会の提供が、かなり大きくなるのではないかと思います。そのような点について、現在、情報教育推進委員会では何か御検討はありますか。その推進などについてお話は出ておりますでしょうか。

**渡辺指導主事** 現在でも幾つかの学校で不登校児童・生徒に対してZoomを使って会話をしたり、まなびポケットを使って課題について配信したり、学校でやったことをお伝えしたりしておりますので、次年度以降も一人一台になったときにそのようなことはより活用できるのではないかと考えております。

**大木委員** 現在でも既にそのような関わりを行っているということで、そうしますと特に一人一台になるからといって、新たに何かを工夫するというよりは今までの蓄積をさらに深めていくというお考えということでしょうか。

**渡辺指導主事** 各校でも先生方が各校でできることを、それぞれの児童・生徒の実態に合った手だてを考えてくださっておりますので、ここにプラスアルファで、その学校で行われていることがほかの学校に広がっていくようにこちらでも支援してまいりたいと思っております。

**大木委員** 今までですとZoomでどのような形で行っているのでしょうか。授業を映したりしているのでしょうか。

**渡辺指導主事** 授業というよりは「今日元気?」「どんなことを今しているの?」という会話を、学習というよりはコミュニケーションを深めるというところで、活用していると把握しております。

**大木委員** 担任の先生とのお子さんとの間でということですね。

**渡辺指導主事** そのとおりです。

**大木委員** 図4ですと学習の利用ということもありまして、直接会ってディスカッションや話はできないけれど、まさにこの共同学習などでも、例えばチャットのような形での投稿であれば意見を言うことができるというお子さんもいらっしゃるかと思います。そういう意味において、おそらくこの一人一台で、しかも単にZoomでの先生との会話というだけでなく、このような形の共同作業も可能になるというシステムであると、さらに応

用ができるのではないかと思います。そのようなことをきっかけとして、よりほかの方との関わりも可能になっていくような一つのきっかけになる可能性もあるかなと思ひまして伺わせていただきました。よろしくお願ひいたします。

**教育長** 様々な可能性もありますし、実施に当たっては配慮しなくてはいけない点も様々あるかと思ひます。授業風景をそのまま流していくことの難しさもあつたり、その大切さもあつたりということ。ただ、今回は一人一台になりますので、これまで御家庭のパソコンを使用していただいた部分は、こちらで御準備させていただけるということ。積極的に学校からも働きかけができるように考えていけたらと思ひます。不登校のお子さんにも有効であるというようなお話もありますので、どんな使い方ができるか、ぜひ研究をお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

## 2 令和2年度国分寺市教育委員会児童生徒表彰被表彰者について

(事務局からの説明)

**教育総務課長** 令和2年度国分寺市教育委員会児童生徒表彰被表彰者について御報告させていただきます。

国分寺市教育委員会児童生徒表彰は、平成29年度から開始しまして今年で4年目となっております。2月9日に表彰審査会を実施いたしまして、その後、教育長決裁により令和2年度の児童生徒被表彰者が決定いたしました。まだ、被表彰者から個人情報の公開の同意を得られていないため、個人の特定ができる情報については報告できない状況でございますが、被表彰者は資料2に記載のとおりでございます。小学生が5人、中学生が3人となっております。表彰理由につきましては、主なものとして載せさせていただいております。今年度は全て、体育、芸能等の文化活動において特に優秀な成果をあげた者となっております。改めて同意が得られましたら、教育委員会定例会で報告をさせていただくとともに、次回の教育広報紙にも掲載していきたいと考えてございます。簡単になりますが、御報告は以上でございます。

(意見・質疑の要旨)

**教育長** 今年度は残念ながらコロナ禍ということで、全国大会など様々な大会が中止となりましたので、表彰者の数も例年よりも若干少ないと思っておりますが、頑張った子どもたちに励ましのエールを送るという意味でも、しっかりと各学校で表彰していただきたいと思っております。残念ながら表彰式は中止とさせていただきますので、御理解いただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

## 3 寄附の受領について

(事務局からの説明)

**教育総務課長** 寄附の受領について御報告させていただきます。資料3をご覧ください。寄附につきましては1件でございます。第一小学校に琴一式を御寄附いただきました。評価額につきましては5,000円でございます。子どもたちに活用をしていただきたいということで頂戴をさせていただきます。簡単であります御報告は以上となります。

(意見・質疑の要旨)

**教育長** ありがたいお話だと思います。ぜひ活用していただきたいと思ひます。



〔その他〕

なし

〔閉会〕

午前10時4分、教育長は閉会を宣言した。

署名委員

1 番

辻 亜希子

2 番

藤井 健志

調製職員

廣瀬 喜朗